



## 2025 年度第 2 回地域研究コンソーシアム理事会議事録

**日時**：2025 年 10 月 1 日（水）13：00-15：00

**開催形式**：オンライン

**出席者**（敬称略）：三重野文晴、福武慎太郎、長縄宣博、近藤信彰、李春利、山本博之、阿部健一

**委任状**（敬称略）：小林知、高倉浩樹、三尾稔、小長谷有紀、（佐藤章）

**陪席**（敬称略）：柳澤雅之（運営委員長/事務局）、石神祥子（事務局）

### 配布資料

1. 理事による審査集計\_JCAS 賞 2025 最終審査\_1001
2. 議事次第
3. 資料 1

### 定足数

出席理事 7 名、委任状提出 4 名で定足数を満たす。

### 審議事項

#### 1. JCAS 賞の最終審査

配布資料 1 をもとに JCAS 賞の各賞の最終選考を行った。結果は以下のよう。

#### 研究作品賞

藏本龍介

“Living with the Vinaya: An Ethnography of Monasticism in Myanmar”

University of Hawai'i Press, 2024 年 11 月

#### 登竜賞

師田史子

『日々賭けをする人々——フィリピン闘鶏と数字くじの意味世界』

慶應義塾大学出版会、2025 年 3 月

#### 研究企画賞

黒木英充

「イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築：世界の分断をのりこえる戦略知の創造」（略称・イスラーム信頼学）【シリーズ・イスラームからつなぐ全 8 巻（東京大学出版会）】（2020 年度～2024 年度にかけての 5 年度）

社会連携賞：応募作品なし

## 報告事項

### 1. 今後の予定

配布資料2にもとに、柳澤運営委員長より、2025年度の今後の予定が説明された。

11月14日（金）14：00 JCAS 運営委員会、16：00 JCAS 理事会  
（京都大学東南アジア地域研究研究所 稲盛財団記念館3階中会議室）

11月15日（土）9：30 年次集会、10：00 JCAS 賞授賞式

13：30～17：00 一般公開シンポジウム

『物語を生きる身体：地域研究が拓く共創的学びの実践』

会場：京都大学東南アジア地域研究研究所（稲盛財団記念館）3階大会議室  
（オンラインと対面を併用するハイブリッド形式）

### 2. その他

#### ● 次年度以降の会長、事務局体制について

懸案となっていた今後の事務局の体制について、来年度から6年間は京都大学東南アジア地域研究研究所が担当することについて、同研究所内での了承がえられたことが、報告された。それにともない会長の選出方法が議論される必要があるが、ひとまず次期はこれまでの輪番の通り、東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所が担当することが提案された。本件は、次回の理事会において審議事項とする予定であることが報告された。

#### ● 理事の辞任について

日本貿易振興機構アジア経済研究所が担当していた理事ポストについて、同研究所から今後の理事の提供を辞退したいとの申し入れが会長にあり、同機構理事及び事務部門と相談の機会を持って、これを了承する方向としたことが報告された。

#### ● その他

以下の意見交換がされた。

- 研究集会への助成などを広報するために、参加機関向けのメーリングリストを整備すべきではないか。
- JCAS 賞審査の手順を、理事が最終決定に大きくかわるものから、JCAS 賞部会と専門委員が中心となって運営するものに改革する必要があるのではないか。
- 理事会への理事の参加を促進し、効率的な運営をおこなうために、理事会開催の条件に出席者の定足数を定め、また副会長をおくべきではないか。

以上